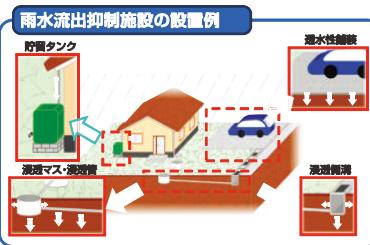


安城市浸透適地マップ

平成23年3月作成

盛土をしない場合

浸透適地マップとは？
「浸透適地マップ」とは、安城市域がどの程度雨水の浸透に適しているかを示したものです。地下水位、土質状況、透水係数などの浸透能力により「適地」、「準適地」、「要検討地」の3段階で区分されています。浸透適地マップは、開発前に雨水流出抑制を計画する時に活用します。



雨水流出抑制施設とは？
「雨水流出抑制施設」とは、雨水が河川や排水路に直接的に流出しないよう、雨水を貯めたて地盤に浸透させる機能を持つ施設のことです。雨水流出抑制施設を設置することにより、下流域の浸水リスクが緩和されます。

マップの凡例

適地 $k=6.1 \times 10^4 \text{m}^3/\text{hr}$	適地マス・透水槽
浸透マス、透水性舗装等の浸透施設の設置に最も適した区域です。	透水性舗装
準適地 $k=0.8 \times 10^4 \text{m}^3/\text{hr}$	適地マス
浸透マス、透水性舗装等の浸透施設の設置に適した区域です。	透水性植栽
要検討地 $k=3.6 \times 10^3 \text{m}^3/\text{hr}$	適地マス
浸透施設の設置にあたり、浸透能力が低いため、検討が必要となる区域です。ただし、透水性舗装の設置をお勧めします。	透水性舗装

堺川・猿渡川流域

特定都市河川雨水対策法により、雨水連携幹線河川による流出量増加分の流域が範囲化された区域が輪郭線で示されている区域です。

